

麒麟ビール向け Non-FIT 自家消費型 太陽光発電事業を 4 工場から 7 工場に拡大

2021 年 9 月 21 日

三菱商事エナジーソリューションズ株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎芳博、以下三菱商事エナジーソリューションズ）が出資・運営するMCKBエネルギーサービス株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：坂口雄一郎、以下MCKBエネルギーサービス）は、2022年1月より、麒麟ビール株式会社（所在地：東京都中野区、社長磯崎功典、以下麒麟ビール）の3工場（北海道千歳・取手・岡山）にて、Non-FIT自家消費型太陽光発電事業を開始します。これはMCKBエネルギーサービスが、3工場それぞれでメガワット級の太陽光発電設備を設置・保有・運用し、そこで発電された太陽光由来の再生可能エネルギー電力を、20年間にわたり麒麟ビールに供給・販売するものです。なお、本件は環境省「ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業」の採択を受けての実施となります。

MCKBエネルギーサービスは、今年の3月から先行して同社4工場（仙台・名古屋・滋賀・神戸）にてNon-FIT自家消費型太陽光発電事業を展開しており、今回対象工場を7工場に拡大します。これにより麒麟ビールは、年間約1,600トンの温室効果ガスを削減するとともに、麒麟ビール全体で使用する電力における再生可能エネルギー比率をおよそ30%に向上させます。

キリンビール向けサービス提供を開始した2005年以来、三菱商事エナジーソリューションズは同社と連携し、同社工場で使用する燃料を重油からガスに転換するオンサイト発電事業、高効率ヒートポンプの導入、排水処理設備から得られるバイオガスを利用した発電や、三菱商事エナジーソリューションズが出資・運営する再生可能エネルギー発電所（太陽光発電所）にて発電された環境価値（トラッキング付非化石証書）付きCO2フリー電力の供給など、同社の温室効果ガス削減に向けた様々な取り組みを企画・実行してきており、本件はこの取り組みの一環として拡充する施策です。

三菱商事エナジーソリューションズは、環境価値の高い再生可能エネルギー電力の供給拡大をはじめとする多様な脱炭素化ソリューションの開発・提供を通じ、環境意識の高いお客さまのニーズに応えつつ、お客さまと共に持続可能な開発目標（SDGs）やサステナブルな事業を推進し、カーボンニュートラル社会の早期実現を目指してまいります。